

第41期 | 定時株主総会
招集ご通知

🕒 2024年6月27日 (木曜日)
日 時 午前10時 (受付開始 午前9時30分)

📍 兵庫県明石市中崎1丁目3番1号
場 所 明石市立市民会館 2階 中ホール
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)

決議
事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 取締役2名選任の件

招集ご通知がスマホでも！



パソコン・スマートフォン
からでも招集ご通知がご覧
いただけます。

<https://p.sokai.jp/7208/>



カネミツは技術を尊び
技術でOnly-Oneを目指す
カネミツはOnly-One技術で
安全と環境に貢献する

MEMO

兵庫県明石市大蔵本町20番26号

株式会社 **カネミツ**

代表取締役社長 金光 俊明

第41期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第41期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の株主総会参考書類等（議決権行使書を除く）の内容である情報（電子提供措置事項）は、電子提供措置をとっておりますので、以下の当社ウェブサイト等にアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト

<https://kanemitsu.co.jp/ir/ir-library/>

上記の当社ウェブサイトへアクセスのうえ、「株主総会・株主通信」欄を
ご確認ください。



株主総会資料掲載ウェブサイト

<https://d.sokai.jp/7208/teiji/>



なお、当日ご出席されない場合は、インターネット、または議決権行使書の郵送によって議決権を行使することができます。お手数ながら「株主総会参考書類」をご検討のうえ、後述の「議決権行使についてのご案内」に従って、2024年6月26日（水曜日）午後5時までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

日 時 2024年6月27日(木曜日) 午前10時 (受付開始 午前9時30分)

兵庫県明石市中崎1丁目3番1号
場 所 **明石市立市民会館 2階 中ホール**
(末尾に記載の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)

目的事項	報告事項	1. 第41期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業報告、連結計算書類、計算書類の内容報告の件 2. 会計監査人および監査役会の第41期連結計算書類監査結果報告の件
	決議事項	第1号議案 剰余金処分の件 第2号議案 定款一部変更の件 第3号議案 取締役2名選任の件

招集にあたっての決定事項

書面(郵送)により議決権を行使された場合の議決権行使書に賛否の意思表示がない場合は、賛成の意思表示があったものとしてお取扱いいたします。

以 上

当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書を会場受付にご提出ください。

電子提供措置事項に修正が生じた場合は、前述のインターネット上の当社ウェブサイトおよび株主総会資料掲載ウェブサイトにおいて、その旨、修正前および修正後の事項を掲載させていただきます。

その他、株主様へのご案内事項につきましては、インターネット上の当社ウェブサイト(<https://kanemitsu.co.jp>)より適宜最新情報をご確認くださいようお願い申し上げます。

議決権行使についてのご案内

議決権は、以下の3つの方法により行使いただくことができます。

インターネットで 議決権を行使される場合



ご案内に従って、各議案に対する賛否をご入力ください。

行使期限

2024年6月26日（水曜日）
午後5時入力完了分まで

書面（郵送）で 議決権を行使される場合



議決権行使書に各議案に対する賛否をご表示のうえ、ご返送ください。

行使期限

2024年6月26日（水曜日）
午後5時到着分まで

株主総会に ご出席される場合



当日ご出席の際は、お手数ながら、議決権行使書を会場受付へご提出ください。

株主総会開催日時

2024年6月27日（木曜日）
午前10時

複数回にわたり議決権を行使された場合の取扱い

インターネットおよび書面（郵送）の
両方で議決権を行使された場合



インターネットによる議決権行使を有効な議決権行使としてお取扱いいたします。

インターネットにより**複数回
議決権を行使された場合**



最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。

交付書面から 一部記載を省略 している事項

電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令および当社定款第16条の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主様にお送りする書面には記載しておりません。

1. 事業報告の「業務の適正を確保するための体制」「業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要」
2. 連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」
3. 計算書類の「株主資本等変動計算書」「個別注記表」
4. 連結計算書類に係る会計監査報告書、計算書類に係る会計監査報告書
5. 監査役会の監査報告書

従いまして、当該書面に記載している事業報告、連結計算書類および計算書類は、会計監査人が会計監査報告書を、監査役が監査報告書を作成するに際して監査をした対象書類の一部であります。

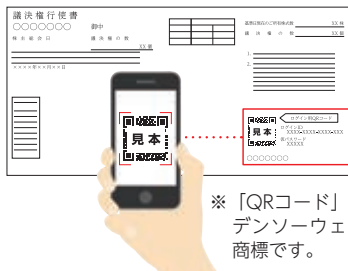


インターネットによる議決権行使のご案内

QRコードを読み取る方法

議決権行使書副票に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、議決権行使サイトにログインすることができます。

- 1 議決権行使書副票（右側）に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は、画面の案内に従って賛否をご入力ください。

QRコードを用いずに議決権を行使する場合は、右の「ログインID・仮パスワードを入力する方法」をご確認ください。

！ ご注意事項

- ※ 午前2時30分から午前4時30分までは、議決権行使サイトの保守・点検のため接続いただくことができません。
- ※ インターネットのご利用環境、ご加入のサービスやご使用の機種によっては、議決権行使サイトが利用できない場合があります。
- ※ 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生するインターネット接続料、通信費等は株主様のご負担となります。

システム等に関する
お問い合わせ

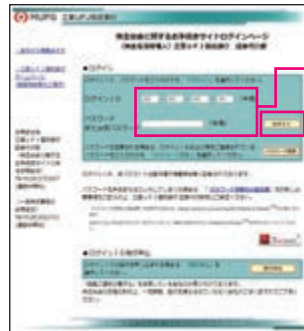
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク

0120-173-027 (通話料無料/受付時間 午前9時～午後9時)

ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.mufg.jp/>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。
- 2 議決権行使書に記載された「ログインID・仮パスワード」を入力しクリックしてください。



「ログインID・
仮パスワード」
を入力
「ログイン」を
クリック

- 3 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

株主総会参考書類

議案および参考事項

第1号議案 剰余金処分の件

当期の期末配当につきましては、当社の配当方針に基づき、当期業績の状況および経営環境等を勘案し、1株につき15円00銭とさせていただきます。これにより、中間配当金14円50銭を加えた年間配当金は、1株につき前期に比べ1円00銭増配の29円50銭となります。

期末配当に関する事項

1	配当財産の種類 金銭	2	配当財産の割り当てに関する事項およびその総額 当社普通株式1株につき 金15円00銭 総額 76,698,330円	3	剰余金の配当が 効力を生じる日 2024年6月28日
---	---------------	---	---	---	----------------------------------

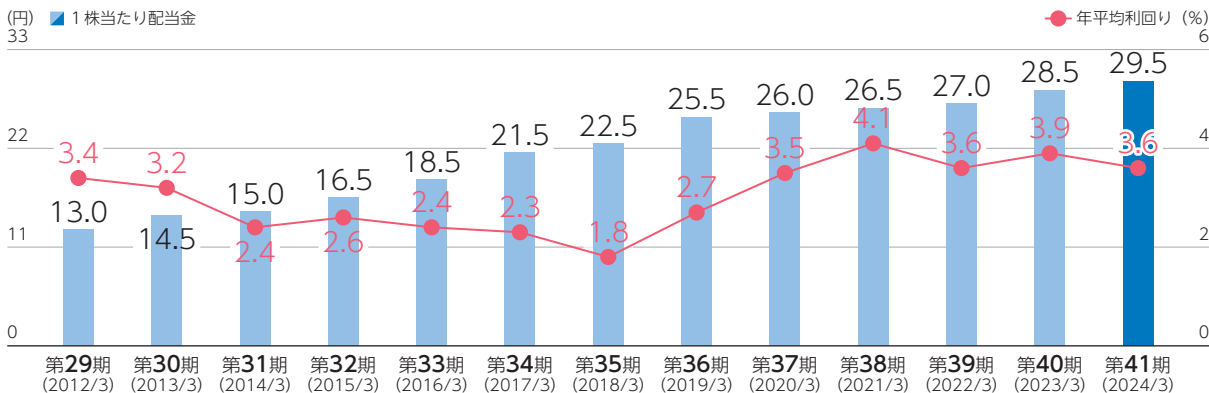
当社の配当方針

当社は、株主様への利益還元として、第9次中期経営計画（2023年4月～2026年3月）において、安定した配当を継続することを基本方針としております。

また、中間配当と期末配当の年2回の配当を行うこととしております。

内部留保金につきましては、経営環境の変化に呼応した事業運営を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

ご参考 1株当たり年間配当金の推移



年平均利回り = 通期配当金額 ÷ 期中平均株価

第2号議案

定款一部変更の件

1. 提案の理由

当社の今後の事業展開に備え、現行定款第2条（目的）3号に事業目的を追加するものであります。

2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

（下線は変更部分を示します）

現行定款	変更案
第1条 [条文省略] （目的）	第1条 [現行どおり] （目的）
第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。 1. 自動車・農機具・一般機械の部品の製造及び販売 2. 金型、治工具及び機械設備の製造及び販売 3. <u>不動産の賃貸</u> 4. <u>前各号に付帯する一切の事業</u>	第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。 1. 自動車・農機具・一般機械の部品の製造及び販売 2. 金型、治工具及び機械設備の製造及び販売 3. <u>食器類・日用雑貨品の製造及び販売</u> 4. <u>不動産の賃貸</u> 5. <u>前各号に付帯する一切の事業</u>
第3条～第39条 [条文省略]	第3条～第39条 [現行どおり]

第3号議案 取締役2名選任の件

本株主総会終結の時をもって、取締役金光俊明、大西将隆、金光秀治の3氏が任期満了となります。つきましては、取締役2名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりであります。

候補者番号	氏名	地位	担当および重要な兼職の状況	候補者属性
1	かね みつ とし あき 金光俊明	代表取締役 社長執行役員	KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 取締役 佛山金光汽車零部件有限公司 董事	再任 指名 報酬
2	かね みつ しゅう じ 金光秀治	取締役 常務執行役員	業務本部本部長 松本精工株式会社 代表取締役社長 KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 取締役 佛山金光汽車零部件有限公司 監事 PT. KANEMITSU SGS INDONESIA プレジデントコミサリス	再任

再任 再任取締役候補者

指名 指名委員会委員

報酬 報酬委員会委員

候補者
番号

1

かね みつ とし あき
金光 俊明

再任

指名

報酬

略歴

1982年 4月 合資会社金光銅工熔接所 入社
※現 株式会社カネミツ
1987年 2月 当社取締役
1999年11月 タイ現地法人代表取締役社長
2009年 6月 当社代表取締役社長
2012年 4月 当社代表取締役社長執行役員
(現任)

地位

代表取締役社長執行役員

担当

—

取締役候補者とした理由

入社以来、主に営業、経営企画、技術開発、品質保証、海外子会社代表者を歴任し、2009年6月からは当社代表取締役社長に就任し、経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。

自動車産業が大変革期を迎えるなか、新商品事業の拡大や自動車以外への参入等、当社グループの事業構造転換のため、引き続き選任をお願いするものであります。

取締役会出席回数

13回/13回 100%

取締役在任年数

37年 ※本総会終結時

所有する当社株式の数

474,600株

生年月日

1959年8月11日生 (満64歳)

重要な兼職の状況

KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 取締役
佛山金光汽车零部件有限公司 董事

当社との特別の利害関係

なし

候補者
番号

2

かね みつ しゅう じ
金光 秀治

再任

略歴

1987年 3月 当社 入社
1999年 3月 当社取締役
2011年 1月 当社取締役
タイ現地法人代表取締役社長
2012年4月 当社取締役執行役員
タイ現地法人代表取締役社長
2021年 1月 当社取締役執行役員
松本精工株式会社代表取締役社長
2021年 7月 当社取締役常務執行役員
業務本部本部長
松本精工株式会社代表取締役社長
(現任)

地位

取締役常務執行役員

担当

業務本部本部長

取締役候補者とした理由

入社以来、主に技術開発、経営企画、国内外子会社代表者を歴任し、経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。

当社グループの経営基盤の強化とさらなる成長のため、引き続き選任をお願いするものであります。

取締役会出席回数

13回/13回 100%

取締役在任年数

25年 ※本総会終結時

所有する当社株式の数

148,700株

生年月日

1964年11月7日生 (満59歳)

重要な兼職の状況

松本精工株式会社 代表取締役社長
KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 取締役
佛山金光汽车零部件有限公司 監事
PT. KANEMITSU SGS INDONESIA プレジデントコミサリス

当社との特別の利害関係

なし

(注) 役員等賠償責任保険契約について

当社は、役員等賠償責任保険契約を締結しており、各候補者の選任が承認された場合、当該保険契約に基づき被保険者となります。

なお、当該保険契約の内容の概要は、事業報告書32ページに記載のとおりであります。

また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

ご参考 第3号議案をご承認いただいた場合の役員体制

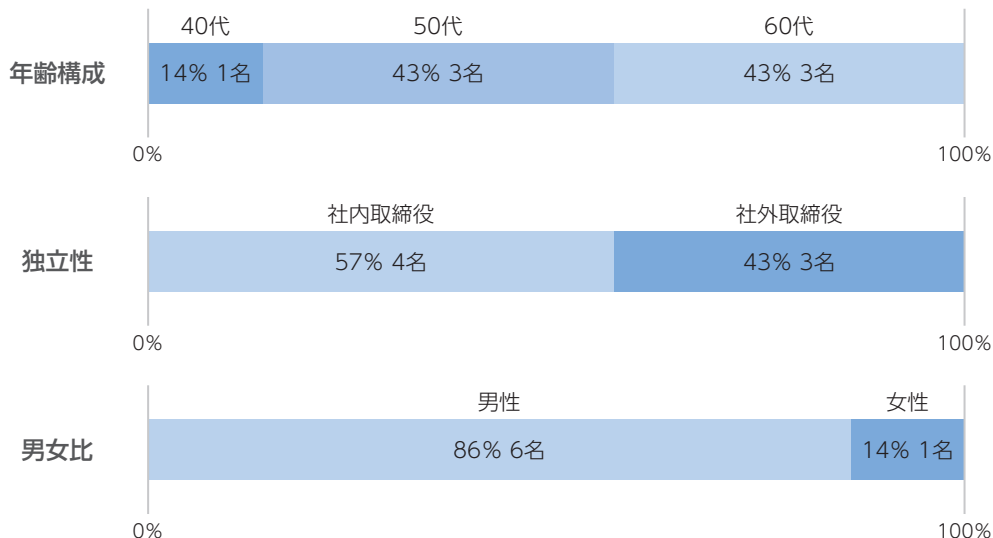
当社取締役・監査役が有している能力・経験は以下のとおりであります。

氏名		企業経営人	技 生	術 産	国 際 性	事業戦略 マーケティング	財務会計 融 資	法 務 コンプライアンス
取締役	金光 俊明 男性	指名	報酬	●	●	●	●	●
	金光 秀治 男性			●	●		●	●
	藤井 直樹 男性			●		●		
	山川 清日 女性			●	●	●		●
	竹治 康公 男性	社外	独立	指名	報酬	●	●	●
	林 隆一 男性	社外	独立	指名	報酬	●	●	●
監査役	石橋 正明 男性	社外	独立				●	●
	高橋 康弘 男性			●	●			●
	廣瀬 敬三 男性	社外	独立					●
	高坂 佳詩子 女性	社外	独立				●	●

取締役・監査役候補者指名の方針および手続き

取締役、監査役（いずれも社外役員を含む）の選任の手続きは、各方面より対象者の経歴・人格・識見等の情報を収集し、それらを総合的に勘案して、その責務にふさわしい人物か否かを任意の委員会である指名委員会において審議し、取締役会で助言・提言しております。その助言・提言を踏まえ、取締役会で決議しております。

ご参考 第3号議案をご承認いただいた場合の取締役の構成



ご参考 指名委員会および報酬委員会

当社は指名委員会、報酬委員会を設置しております。

それぞれの委員会は、社内取締役1名および社外取締役2名からなる3名の取締役で構成し、その委員長は取締役会の決議によって選定しております。

指名委員会

指名委員会は取締役会の諮問機関として、以下の内容等について審議し、取締役会へ答申を行うこととしております。

- ・取締役および監査役の選任および解任に関する株主総会議案
- ・代表取締役社長の選定および解職ならびにその後継者育成プラン
- ・執行役員の選任および解任
- ・その他重要な人事異動

報酬委員会

報酬委員会は取締役会の諮問機関として、以下の内容等について審議し、取締役会へ答申を行うこととしております。

- ・取締役および執行役員の報酬基本方針、手続き、個人別の報酬等の内容

1. 企業集団の現況に関する事項

1 当事業年度の事業の状況

1 事業の経過および成果

当連結会計年度の世界経済は概ね回復基調にありましたが、中国経済の失速、物価高の再燃、地域紛争の拡大等の不確定要因を抱えた状態での回復となりました。

また自動車業界は、ハイブリッド車を含む電動化が加速しました。

このような状況下で、当社グループは主力製品であるプーリやトランスミッション部品、自動車の電動化に対応するxEV※1部品、ならびに今後需要拡大が期待されるモーターコア部品を4本柱として事業展開を行いました。プーリやトランスミッション部品では、生産体制の再構築を実施し、収益向上を図り、xEV※1部品では拡販に注力し、モーターコア部品では一昨年設立した合併会社キーネクストで生産を開始しました。一方、海外拠点では特に中国市場での急速な自動車のEVシフトに伴うプーリ需要の減少により、収益を圧迫しました。

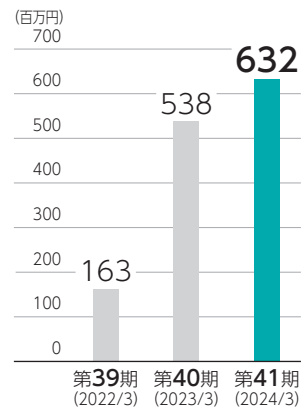
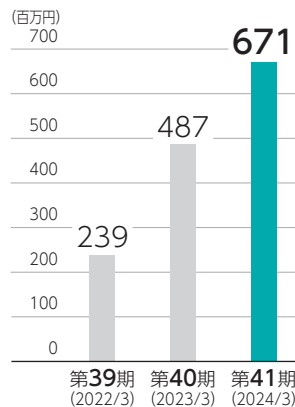
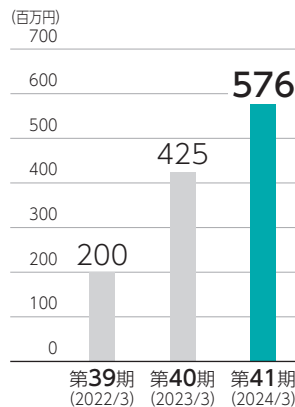
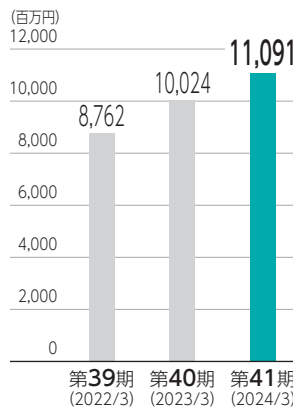
※1 xEVとは、バッテリー電気自動車 (BEV) やハイブリッド車 (HEV)、プラグインハイブリッド車 (PHEV)、水素を用いた燃料電池車 (FCEV) 等の総称です。

連結業績

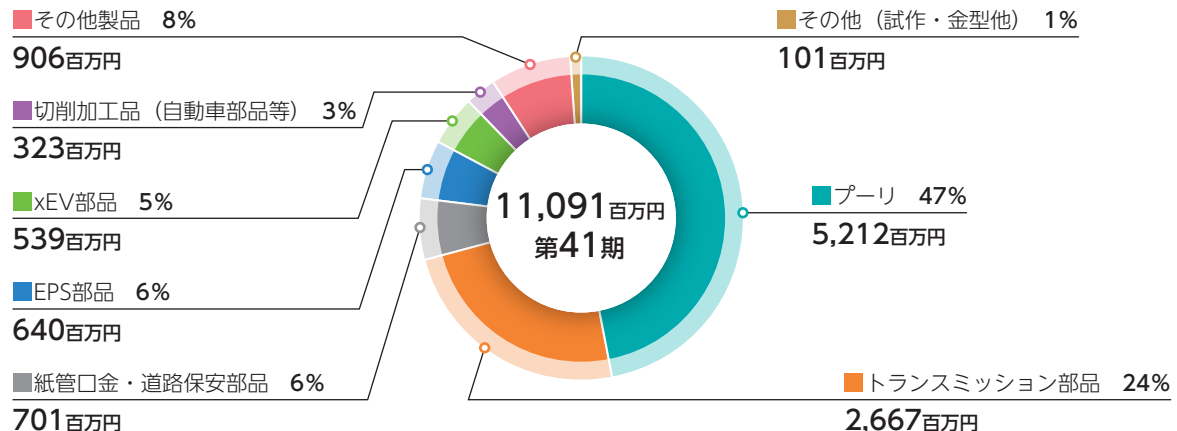
当連結会計年度の業績は、総売上高は11,091百万円 (前期10,024百万円) となり、利益面では、営業利益576百万円 (前期425百万円)、経常利益671百万円 (前期487百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益632百万円 (前期538百万円) となりました。

ご参考 (連結)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
11,091 百万円 前期比 10.6% 増	576 百万円	671 百万円	632 百万円



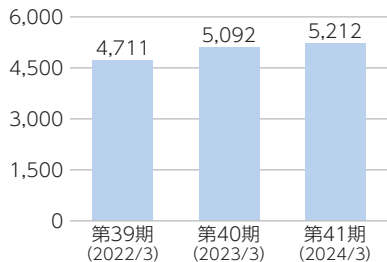
売上高構成比



主要な事業のご紹介

プーリ事業

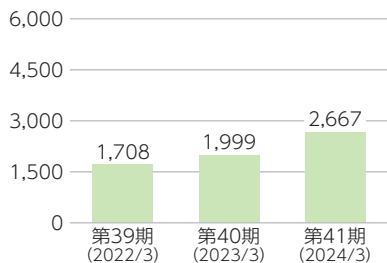
単位 百万円



プーリは国内トップシェアの主力商品です。2023年より、プーリの生産拠点を三木工場に集約し、更なる生産効率向上を進めております。

トランスミッション部品事業

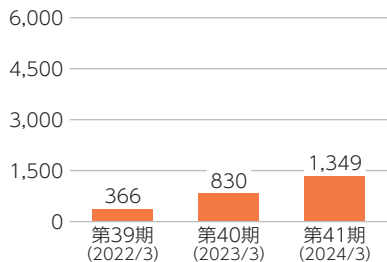
単位 百万円



トランスミッション部品では、当社独自の増減肉技術と松本精工株式会社が保有する機械加工技術のシナジーが評価され、販売数を伸ばしております。

xEV部品・モーターコア部品事業

単位 百万円



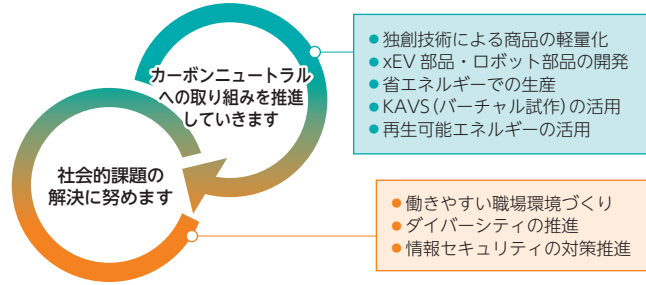
xEV部品は今後の成長が期待できる分野として、拡販を進めております。

また、2023年7月より、合併会社キーネクストでモーターコア部品の生産を開始し、販売実績ができました。今後の増産に向け生産体制を強化していきます。

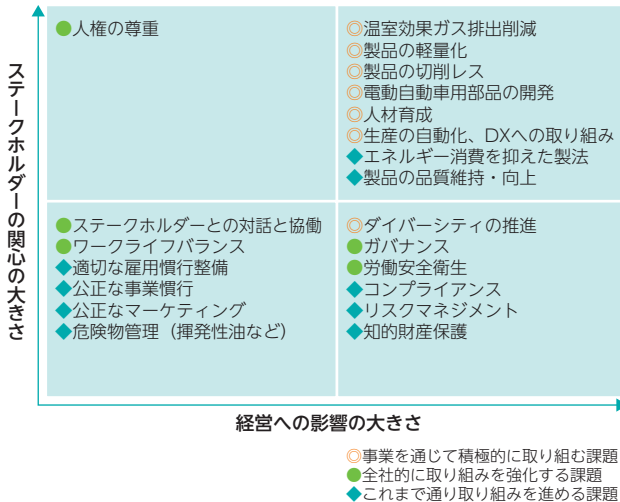
サステナビリティへの取り組み（企業体質の強化）

サステナビリティ方針

私たちカネミツ・グループは、「カネミツは技術を尊び技術でOnly-Oneを目指す」「カネミツはOnly-One技術で安全と環境に貢献する」という経営理念に基づき、地球環境や社会の課題に向き合い、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めます。



カネミツのマテリアリティ



目指す姿

- 軽量化によるCO₂排出量の削減で、地球温暖化防止に貢献します。
- 切削工程を少なくする加工技術、熱を加えない加工技術により資源の有効利用に努めます。
- 組織としてダイバーシティ&インクルージョンに取り組めます。
- コンプライアンス体制の充実化を図っていきます。

マテリアリティの選定方法

STEP1 課題の特定	SDGsの17の目標/169のターゲットを軸に、事業およびサプライチェーンと関連性がある項目を抽出
STEP2 優先順位付け	ステークホルダーの期待・要望、カネミツにとっての重要性から優先順位付けを行いマテリアリティマトリクスを作成
STEP3 妥当性の検証	グループ経営陣、関係役員での議論 社外取締役、社外監査役と意見交換し、妥当性を検証し、優先的に取り組むべきマテリアリティを確認
STEP4 経営レベルで承認	社外取締役、社外監査役などの意見を踏まえて特定したマテリアリティや優先課題を経営層による審議の上、取締役会で承認

環境	安心	
CO ₂ 排出量の削減	人権の尊重	人材育成
資源有効利用	働き方改革	ダイバーシティ
ペーパーレス化	コンプライアンス	

貢献



人的資本経営の取り組み

年齢、性別、国籍関係なく活躍できる人財の育成、職場づくりを目指します

人的資本経営に関する指標

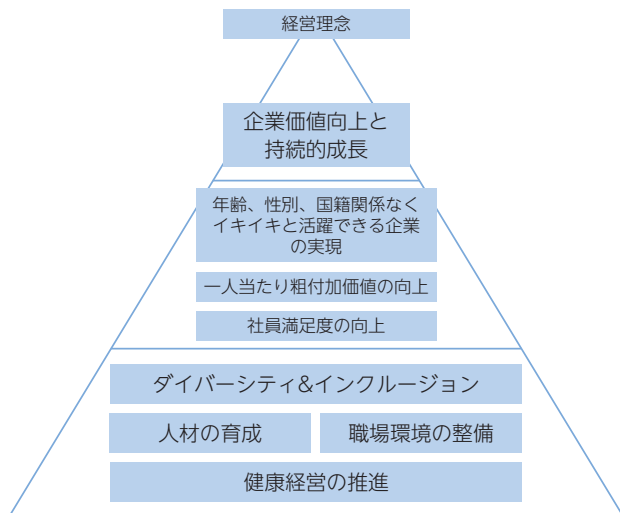
社員満足度 (ES)

51%
(2022年度)



60%
(2028年度)

カネミツの人的資本経営体系図



社外の評価

2024年3月、健康経営優良法人に選定されました



人的資本経営の取り組み

取り組みの一例

次世代リーダー育成・女性活躍推進

- ・兵庫県内6社連携講座「女性リーダー・キャリアアップ勉強会」
受講者：5名
期間：2023年11月から2024年11月まで
- ・女性リーダーのためのビジネス・カレッジ
受講者：1名
期間：2023年10月から2024年3月まで



グローバルスタッフ・ジュニアグローバルスタッフ認定制度

グローバルに活躍するスタッフへの認定制度を設けております。
目的：グローバルな舞台で積極的に挑戦し活躍できる人材の育成
認定第1号はタイ子会社のタイ人技術スタッフです。
海外子会社の技術のトップとして活躍しております。
ジュニアグローバルスタッフ制度を2023年に新設しました。
認定第1号は日本人女性です。

海外子会社の技術・技能者育成

2012年より海外子会社の技術・技能者育成のため、日本での技術教育を継続しております。

対象：タイ・中国・インドネシア子会社の社員

結果：タイテクニカルセンターに主力商品プーリの開発機能を移管
インドネシア子会社の技術トップはタイ人技術者
インドネシア製造幹部は当社のインドネシア人技能実習生経験者
タイ子会社・中国子会社にKAVS（バーチャルシミュレーション設計）を展開



IT資格取得促進

資格取得報酬制度の対象資格にIT資格を追加しました。
追加したIT資格：ITパスポート・VBAエキスパート・RPA技能者検定等
IT資格取得者を増やすことで、人材の高度化と全社DX化を支えております。

カーボンニュートラルへの取り組み

株式会社カネミツのScope1&2において

「2026年3月までにCO₂排出量原単位53%削減（2013年度比）」を目指す

※原単位：株式会社カネミツの売上高あたりのScope1&2のCO₂排出量

当社では、サステナビリティ方針にカーボンニュートラルを掲げ、第9次中期経営計画においても脱炭素への取り組みを強力に進めております。2024年3月までの進捗状況を踏まえ、年率5%削減を目安に、目標値を35%から53%へ引き上げました。

主な取り組み

①Scope1&2の取り組み

- ・生産効率向上
- ・シミュレーション設計（KAVS）の活用拡大
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・スクラップの有効活用

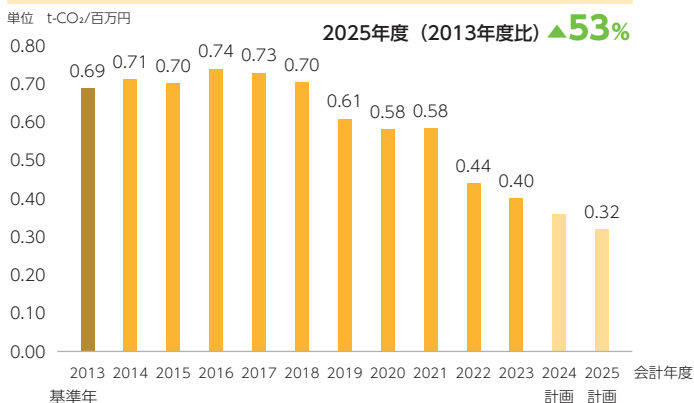
②Scope3の取り組み

- ・ネットシェイプ技術による軽量化
- ・xEV部品の拡販による削減貢献量の拡大

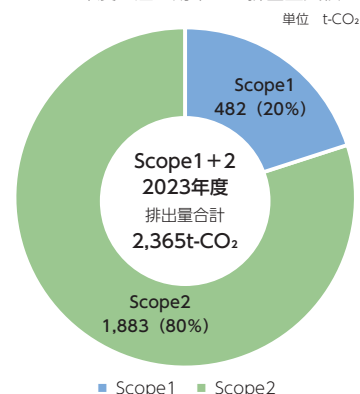
2023年7月、加西工場に太陽光発電を導入しました。



CO₂排出量原単位推移
(株式会社カネミツScope1&2)



2023年度 温室効果ガス排出量実績



2 設備投資・資金調達の状況

当連結会計年度の設備投資額は総額で879百万円であり、その主なものは、加西工場のxEV部品生産ライン増設、タイのKANEMITSU PULLEY CO., LTD. の土地取得、松本精工株式会社のCNC旋盤増設等であります。

当連結会計年度における設備投資等の所要資金は、自己資金および銀行借入金等をもって充当しました。

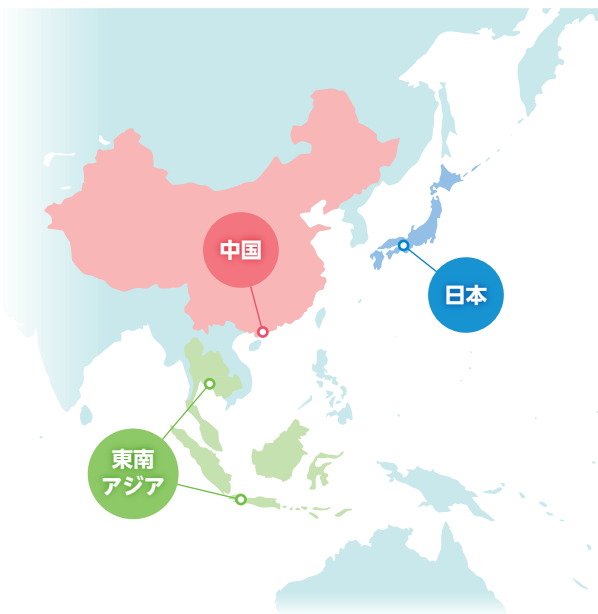
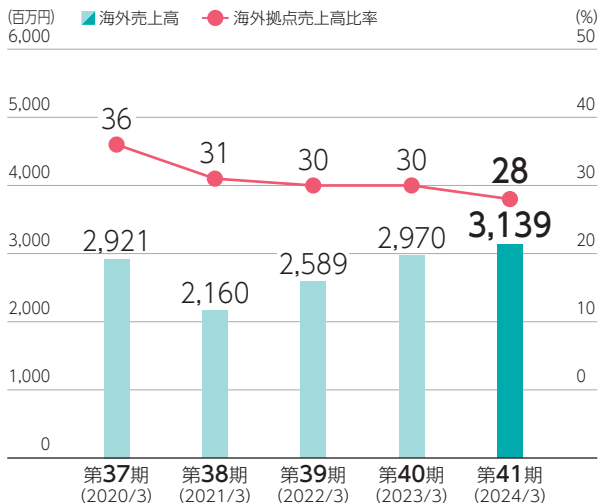
2 財産および損益の状況

		第38期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	第39期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	第40期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	第41期(当期) (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
売上高	(百万円)	7,034	8,762	10,024	11,091
経常利益又は経常損失 (△)	(百万円)	△398	239	487	671
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	(百万円)	△109	163	538	632
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (△)	(円)	△21.42	32.02	105.22	123.65
総資産	(百万円)	14,146	14,371	15,407	16,105
純資産	(百万円)	9,147	9,267	9,957	10,962
1株当たり純資産	(円)	1,756.25	1,780.37	1,914.72	2,108.08
自己資本比率	(%)	63.5	63.3	63.5	66.9

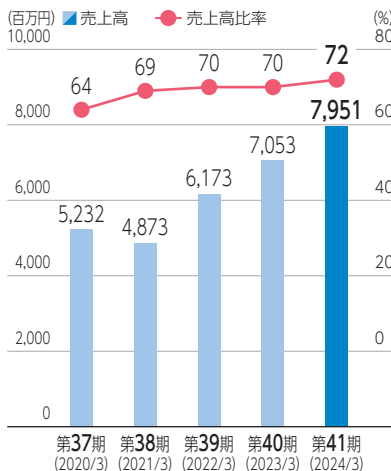
(注) 1. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△) は期中平均発行済株式総数 (自己株式控除後) に基づき算出しております。
2. 1株当たり純資産は期末発行済株式総数 (自己株式控除後) に基づき算出しております。

ご参考

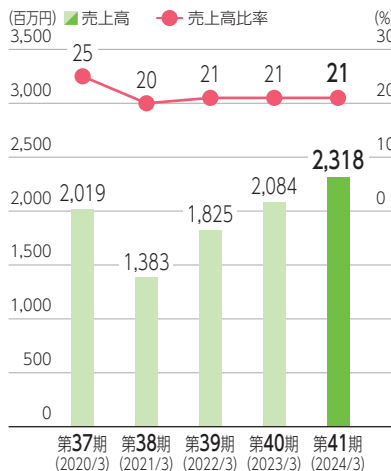
海外売上高/海外拠点売上高比率



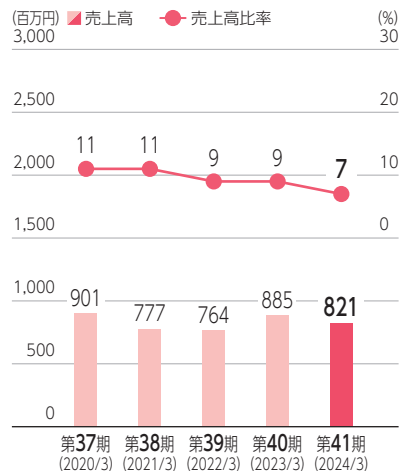
日本



東南アジア



中国



3 重要な子会社の状況

重要な子会社の状況

会社名	所在地	設立年月日	資本金	出資比率	主要な事業内容	関係内容
KANEMITSU PULLEY CO., LTD.	タイ王国 ラヨーン県	1999年 11月17日	90,000 千タイバーツ	95.0%		当社製品の一部を製造、役員の兼任5名
佛山金光汽車零部件有限公司	中華人民共和国 広東省	2006年 4月5日	4,830 千米ドル	85.5%	鋼板製プーリ、金属加工品および金型・治具の開発、製造および販売	当社製品の一部を製造、金融機関からの借入金の債務保証、役員の兼任3名
PT. KANEMITSU SGS INDONESIA	インドネシア共和国 西ジャワ州	2014年 10月15日	4,200 千米ドル	51.0%		当社製品の一部を製造、金融機関からの借入金の債務保証、役員の兼任1名
松本精工株式会社	兵庫県加古川市	1989年 2月28日	10,000 千円	100.0%	自動車用電装部品等の製造加工	当社製品の一部を加工、役員の兼任2名
株式会社津村製作所	大阪府大阪市	1948年 5月11日	36,000 千円	100.0%	紙管口金、道路安全資材関連部品、鋼製家具部品、その他金属プレス加工	役員の兼任1名

(注) 当社の連結子会社は上記重要な子会社5社であります。

4 対処すべき課題

当社グループでは、売上高に占める自動車部品の比率が大半であることから、自動車業界の動向が経営を大きく左右する構造となっております。この自動車業界では、カーボンニュートラルを目指す動きは世界的に拡大し、電動化へのシフトは急速に加速しております。また、世界各地で発生している紛争等により、エネルギーや物価高騰等先行きが不透明な状況にあります。

自動車がハイブリッド化や電動化へとシフトしていくなかで当社グループは、トランスミッション部品やxEV部品等の次期商品の事業拡大を進めております。

主力商品プーリでは残存者利益獲得のため、生産工場を三木工場に集約し、更なる生産効率向上を目指しております。

また、カーボンニュートラルの中期目標を設定し、Scope1、2のCO₂排出量削減に取り組んでおります。2023年度、加西工場の一部工場屋根に太陽光発電を導入し、再生可能エネルギーの利用を開始いたしました。今後も計画的な太陽光発電の導入や省エネ活動等を推進してまいります。

さらに合併会社キーネクストでは、モーター部品の生産実績を積み、今後さらに拡販につなげてまいります。また、人的資本経営を推進し、企業価値向上を目指していきます。

スローガン

新しい世界に挑戦していきます

2024年度のテーマ

「変革」と「挑戦」

基本戦略

1. 事業戦略

- ・新商品開発・新事業開拓
新エネルギー車向け部品の開発、新事業分野の開拓、モーターコア関連部品の拡販
- ・既存事業の改革
生産ラインの自動化推進、生産ラインの最適配置、無駄な作業の徹底廃止

2. サステナビリティへの取り組み

- ・カーボンニュートラル活動の浸透
省エネ活動の推進、軽量化・電動関連部品の供給拡大、再生可能エネルギーの活用拡大
- ・人的資本経営の推進
社員エンゲージメントと満足度の向上、仕事環境の最適化追求
- ・サイバーセキュリティへの取り組み
- ・地域との共生活動の実施

5 主要な事業内容 (2024年3月31日現在)

自動車・農機用プーリ、自動車用トランスミッション部品の開発、製造および販売

6 主要な営業所および工場 (2024年3月31日現在)

1 当社

	名称	所在地
本社		兵庫県 明石市
工場	三木工場	兵庫県 三木市
	加西工場	兵庫県 加西市
	長崎工場	長崎県 長崎市
営業所	中部営業所	愛知県 刈谷市
開発・研究拠点	テクニカルセンター	兵庫県 加西市
	リサーチセンター	長崎県 長崎市

2 子会社

22ページに記載の「重要な子会社の状況」をご覧ください。

7 従業員の状況 (2024年3月31日現在)

企業集団の従業員の状況

従業員数	前連結会計年度末比増減
596名	11名減

(注) 契約社員等59名(1日当たり8時間換算による)は含まれておりません。

8 主要な借入先の状況 (2024年3月31日現在)

借入先	借入残高
株式会社三菱UFJ銀行	398百万円
株式会社三井住友銀行	367百万円
株式会社みずほ銀行	270百万円

2. 会社の株式に関する事項 (2024年3月31日現在)

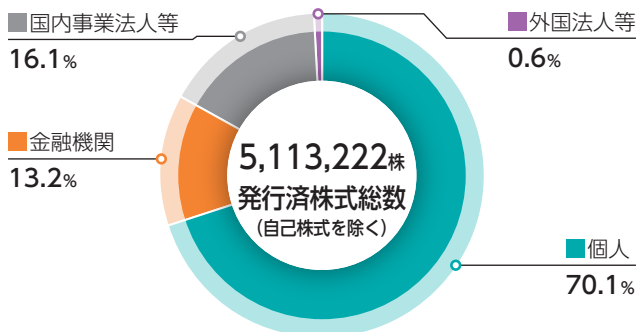
1 株式の状況

発行可能株式総数	17,000,000株
発行済株式総数 (注)	5,113,222株
株主数	7,578名

(注) 自己株式数 (16,355株) を除く。

ご参考

所有者別株式分布状況



2 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

3 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
金光俊明	474千株	9.28%
カネミツ従業員持株会	394	7.71
大阪中小企業投資育成株式会社	348	6.82
山田勇作	164	3.22
金光充子	152	2.99
金光秀治	148	2.91
バンドー化学株式会社	141	2.76
日本生命保険相互会社	136	2.67
明治安田生命保険相互会社	136	2.67
金光大介	117	2.29

(注) 持株比率は自己株式数 (16,355株) を控除して計算しております。

3. 会社役員 の 状況

1 取締役および監査役の状況 (2024年3月31日現在)

氏名	地位	担当および重要な兼職の状況
金光 俊明	代表取締役 社長執行役員	KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 取締役、佛山金光汽車零部件有限公司 董事
大西 将隆	取締役 常務執行役員	生産本部本部長、KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 取締役、 佛山金光汽車零部件有限公司 董事長兼総経理
金光 秀治	取締役 常務執行役員	業務本部本部長、 松本精工株式会社 代表取締役社長、 KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 取締役、 佛山金光汽車零部件有限公司 監事、 PT. KANEMITSU SGS INDONESIA プレジデントコミサリス
藤井 直樹	取締役 常務執行役員	技術本部本部長、 KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 取締役、株式会社キーネクスト 取締役
山川 清日	取締役 執行役員	KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 代表取締役社長、 佛山金光汽車零部件有限公司 董事
竹治 康公	社外取締役	神戸学院大学 経済学部 教授
林 隆一	社外取締役	神戸学院大学 経済学部 教授
石橋 正明	社外取締役	
高橋 康弘	常勤監査役	松本精工株式会社 監査役、株式会社津村製作所 監査役
廣瀬 敬三	社外監査役	
高坂 佳詩子	社外監査役	弁護士法人色川法律事務所 弁護士 タキロンシーアイ株式会社 社外取締役

- (注) 1. 取締役竹治康公氏、取締役林隆一氏および取締役石橋正明氏は、社外取締役であります。
なお、当社は、3氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。
2. 監査役廣瀬敬三氏および監査役高坂佳詩子氏は、社外監査役であります。
なお、当社は、両氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。
3. 監査役高坂佳詩子氏の戸籍上の氏名は、宮端佳詩子（みやばた よしこ）であります。

2 取締役および監査役の報酬等の額

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額 (百万円)			対象となる役員 の員数
		固定報酬		株式報酬	
		月額報酬	賞与		
取締役 (うち社外取締役)	77 (18)	56 (15)	21 (3)	— (—)	8名 (3名)
監査役 (うち社外監査役)	18 (6)	18 (6)	— (—)	— (—)	3名 (2名)
合計	96 (25)	74 (22)	21 (3)	— (—)	11名 (5名)

- (注) 1. 取締役の報酬等の総額には、使用人兼取締役の使用人分給与は含まれておりません。
 2. 取締役の報酬等の総額には、当事業年度に係る役員賞与として支払予定の金額を含んでおります。
 3. 当社は、2005年6月28日開催の第22期定時株主総会終結の時をもって取締役および監査役の役員退職慰労金制度を廃止し、同株主総会終結後引き続き在任する取締役および監査役に対しては、役員退職慰労金制度廃止までの在任期間に対応する役員退職慰労金を当社の規程に従い退任時に贈呈することを決議いただいております。

3 非金銭報酬等に関する事項

当事業年度の株式報酬の支給はありません。

非金銭報酬は、当事業年度の業績水準（連結営業利益）に基づき、報酬委員会の意見を踏まえ、譲渡制限付株式の交付の可否および数量を決定しております。

4 株主総会における報酬等に関する決議事項

役員区分	報酬の種類	株主総会決議の概要 (報酬総額)	株主総会決議の年月日	決議時点の役員の員数
取締役	月額報酬	年額200百万円以内 (使用人分給与は含まない)	2005年6月28日 第22期定時株主総会	取締役9名
	賞与			
	株式報酬	年額100百万円以内	2018年6月21日 第35期定時株主総会	取締役6名 (うち社外取締役2名)
監査役	月額報酬	年額50百万円以内	2005年6月28日 第22期定時株主総会	監査役2名

5 報酬等の種類別の方針

報酬等の種類	方針
月額報酬	<ul style="list-style-type: none"> ● 役員の月額報酬は固定型報酬であり、職位や担当する職務内容、職責および会社業績等を総合的に勘案したうえで決定しております。 ● 月額報酬は在任期間中、毎月定期的に支給することとしております。
賞与	<ul style="list-style-type: none"> ● 会社業績、職務遂行に対する業績評価等を総合的に勘案し配分を決定しております。 ● 賞与については、各事業年度の定時株主総会后、毎年1回支給することとしております。
株式報酬	<ul style="list-style-type: none"> ● 株主価値向上への貢献意欲を高めることを図るためのインセンティブとして譲渡制限付株式報酬を支給しております。 ● 当事業年度の業績水準（連結営業利益）に基づき、報酬委員会の意見を踏まえ、譲渡制限付株式の交付の可否および数量を決定しております。 ● 株式報酬については、各事業年度の定時株主総会后、毎年1回支給することとしております。

6 取締役の個人別の報酬等の内容についての決定方針

当該方針の決定方法

2021年2月10日開催の取締役会決議による決定

当該方針の内容の概要

取締役会決議による委任に基づいて、全て代表取締役社長が決定しております。取締役会の決議による委任を受けた代表取締役社長は、過半数を独立社外取締役とする報酬委員会の審議、答申を尊重して、取締役の個人別報酬の内容を決定しております。

当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が報酬方針に沿うものであると取締役会が判断した理由

当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容について取締役会の決議に際しては、報酬委員会の審議、答申にて、内容を検討し決定しております。また、取締役会は当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が取締役会で決議された決定方針と整合していることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

取締役の個人別の報酬等の内容の決定の委任に関する事項

委任を受けたもの	代表取締役社長 金光俊明
委任した理由	当社全体の業績等を勘案し、各取締役の担当部門について評価を行うには代表取締役が適していると判断したためです。
委任された権限の内容	各取締役の基本報酬の額および業績等を踏まえた賞与配分の決定を委任しております。

7 社外役員に関する事項

社外取締役の主な活動状況

氏名	取締役会 出席状況 (出席率)	指名委員会 出席状況 (出席率)	報酬委員会 出席状況 (出席率)	発言状況および期待される役割に関して行った職務の概要
竹治 康公	13回／13回 (100%)	8回／8回 (100%)	5回／5回 (100%)	主に大学の教授としての専門的な高い知識・豊富な経験等に基づく経営全般、利益相反の監督機能の強化の観点から、取締役会では、事業戦略、人材育成等を中心に独立した立場からの監督および専門的な立場からの助言・提言等を積極的に行っております。 また、指名委員会・報酬委員会のメンバーとして、役員・経営陣幹部の人事や報酬決定のプロセスにおいて客観的な立場から忌憚のない意見や的確なアドバイスを行い、経営の監督と経営全般への助言等、社外取締役に求められる役割・責務を十分に果たしております。
林 隆一	13回／13回 (100%)	8回／8回 (100%)	5回／5回 (100%)	主に証券会社の研究員として培われた自動車業界およびIR・企業分析等に関する豊富な知識と高い見識から、取締役会では、経営全般、コーポレートガバナンス、利益相反の監督機能の強化の観点から発言を行っております。 また、指名委員会・報酬委員会のメンバーとして、コーポレートガバナンスや人材育成等、役員・経営陣幹部の人事や報酬決定のプロセスにおいて客観的な立場から忌憚のない意見や的確なアドバイスを行い、経営の監督と経営全般への助言等、社外取締役に求められる役割・責務を十分に果たしております。
石橋 正明	13回／13回 (100%)	—	—	企業経営に関する豊富な経験と高い見識から、取締役会では、経営全般、財務、適時開示の観点から積極的に発言を行い、経営の監督と経営全般への助言等、社外取締役に求められる役割・責務を十分に果たしております。

- (注) 1. 上記取締役会の開催回数には、書面決議を含んでおりません。
2. 取締役竹治康公氏、取締役林隆一氏の兼職先と当社の間には、特別の利害関係はありません。

社外監査役の主な活動状況

氏名	取締役会 出席状況 (出席率)	監査役会 出席状況 (出席率)	発言状況等
廣瀬 敬三	13回／13回 (100%)	15回／15回 (100%)	上場会社の監査役および監査等委員である取締役としての豊富な知識・経験等に基づき取締役会、監査役会、その他重要会議では、積極的に発言するとともに、年度計画に基づく業務監査、決算監査にも立ち会う等、客観的な立場からの確な監査を行っております。
高坂 佳詩子	13回／13回 (100%)	15回／15回 (100%)	弁護士および上場会社の社外取締役としての専門的な知識・経験等に基づき取締役会、監査役会、その他重要会議では、積極的に発言をするとともに、決算監査にも立ち会う等、客観的な立場からの確な監査を行っております。

(注) 1. 上記取締役会の開催回数には、書面決議を含んでおりません。
2. 監査役高坂佳詩子氏の兼職先と当社の間には、特別の利害関係はありません。

8 責任限定契約に関する事項

会社法第427条第1項の規定に基づき、取締役竹治康公氏、取締役林隆一氏、取締役石橋正明氏、監査役廣瀬敬三氏および監査役高坂佳詩子氏との間で同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に規定する最低責任限度額を限度としております。

9 役員等賠償責任保険契約に関する事項

被保険者の範囲

当社の会社法上の取締役および監査役

契約の内容の概要

会社役員として業務につき行った行為または不作為に起因して、保険期間中に株主または第三者から損害賠償請求された場合に、それによって役員が被る損害（法律上の損害賠償金、争訟費用）を填補対象としております。

このほか、現に損害賠償請求されていなくても、損害賠償請求がなされるおそれがある状況が発生した場合に、被保険者である役員がそれらに対応するために要する費用も填補対象としております。

ただし、贈収賄等の犯罪行為や意図的に違法行為を行った役員自身の損害等は填補対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないように措置を講じております。

4. 会計監査人の状況

1 名称

清稜監査法人

2 報酬等の額

	報酬等の額
当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額	19百万円
当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	19百万円

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は、社内関係部署および会計監査人から必要な資料の入手および報告を受け、会計監査人の当該事業年度の監査計画の妥当性および適切性、当該監査報酬の算出根拠、当該監査計画と監査報酬との整合性等を精査および確認し、審議した結果、当該事業年度の監査報酬の額は適切であると判断し、会社法第399条第1項の同意を行っております。
3. 当社の重要な子会社のうち、在外子会社につきましては、当社の会計監査人以外の監査法人の監査を受けております。

3 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

会社都合の場合のほか、当社監査役会は、当該会計監査人が会社法第340条第1項各号に定められている解任事由に該当する状況にあり、かつ改善の見込みがないと判断した場合、もしくは、監督官庁から監査業務停止処分を受ける等、当社の監査業務に重要な支障をきたす事態が生じた場合には、会計監査人の解任または不再任に関する議案を決定し、当社取締役会は、当該決定に基づき当該議案を株主総会に提出することとしております。

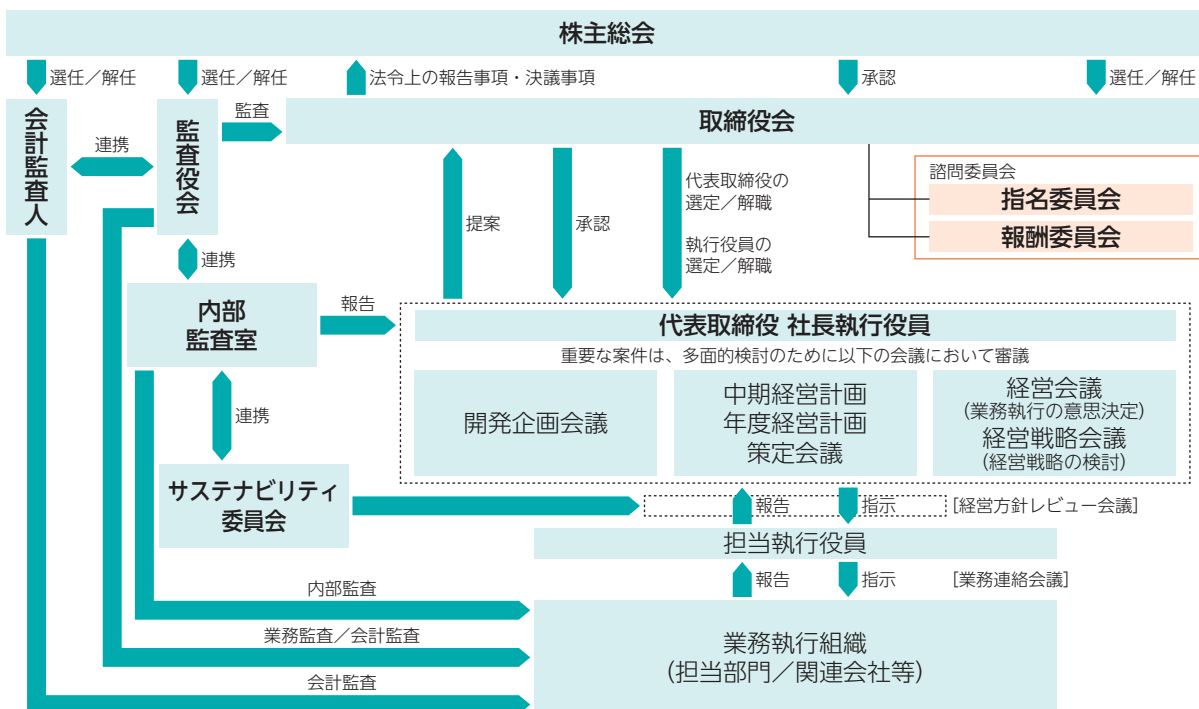
コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方と基本方針

当社は、「カネミツは技術を尊び技術でOnly-Oneを目指す」「カネミツはOnly-One技術で安全と環境に貢献する」の経営理念に基づき、広く社会にとって有用な存在であり続けたいと考えております。そして、この経営理念の実践を通じ持続的に企業価値を高め、株主を含むすべてのステークホルダーとの信頼関係を築くことが重要と考えております。

こうした考えのもと経営の効率性の向上、健全性の維持、透明性の確保に努め、経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる体制を構築するとともに、経営の監督機能の強化や情報の適時開示に取り組み、コーポレートガバナンスの充実化を図ってまいります。

コーポレートガバナンス体制



連結計算書類

連結貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	(7,795,930)
現金及び預金	3,574,515
受取手形、売掛金及び契約資産	1,770,574
電子記録債権	1,408,678
商品及び製品	295,867
仕掛品	552,606
原材料及び貯蔵品	128,808
その他の	64,879
固定資産	(8,309,773)
有形固定資産 (6,781,182)	
建物及び構築物	1,933,543
機械装置及び運搬具	1,907,579
工具器具備品	225,331
土地	2,595,233
建設仮勘定	119,494
無形固定資産 (116,695)	
投資その他の資産 (1,411,895)	
投資有価証券	1,244,010
関係会社株式	23,811
繰延税金資産	24,193
その他の	119,879
資産合計	16,105,704

科目	金額
負債の部	
流動負債	(3,655,327)
支払手形及び買掛金	690,291
電子記録債務	924,000
短期借入金	465,589
1年内返済予定の長期借入金	593,408
リース債務	96,187
未払法人税等	85,413
賞与引当金	155,457
役員賞与引当金	21,570
その他の	623,411
固定負債	(1,487,690)
長期借入金	570,215
リース債務	30,824
退職給付に係る負債	348,210
繰延税金負債	433,678
長期未払金	46,380
その他の	58,380
負債合計	5,143,017
純資産の部	
株主資本	(9,417,097)
資本金	556,073
資本剰余金	506,523
利益剰余金	8,370,411
自己株式	△15,912
その他の包括利益累計額	(1,362,008)
その他有価証券評価差額金	507,232
為替換算調整勘定	854,775
非支配株主持分	(183,581)
純資産合計	10,962,686
負債純資産合計	16,105,704

連結損益計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	11,091,270
売上原価	8,769,768
売上総利益	2,321,501
販売費及び一般管理費	1,744,522
営業利益	576,978
営業外収益	173,429
受取利息及び配当金	89,097
為替差益	23,759
受取賃貸料	16,640
スクラップ売却益	19,639
その他	24,293
営業外費用	78,952
支払利息	18,780
賃借原価	29,764
持分法による投資損失	5,586
その他	24,821
経常利益	671,455
特別利益	10,615
固定資産売却益	6,172
補助金収入	4,442
特別損失	2,377
固定資産除売却損	2,377
税金等調整前当期純利益	679,693
法人税、住民税及び事業税	112,450
法人税等調整額	△72,064
当期純利益	639,307
非支配株主に帰属する当期純利益	7,055
親会社株主に帰属する当期純利益	632,251

貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	(4,236,824)
現金及び預金	1,418,777
受取手形	6,321
電子記録債権	1,251,735
売掛金	893,242
商品及び製品	76,862
仕掛品	398,093
原材料及び貯蔵品	35,432
前払費用	9,776
その他	146,582
固定資産	(6,253,460)
有形固定資産	(4,451,151)
建物	1,235,814
構築物	43,092
機械装置	992,487
車両運搬具	3,207
工具器具備品	76,213
土地	2,033,907
建設仮勘定	66,428
無形固定資産	(24,179)
ソフトウェア	22,717
電話加入権	1,462
投資その他の資産	(1,778,128)
投資有価証券	1,008,472
関係会社株式	705,063
出資金	2,070
保険積立金	44,116
その他	18,406
資産合計	10,490,284

科目	金額
負債の部	
流動負債	(2,737,147)
買掛金	266,497
電子記録債務	924,000
短期借入金	390,000
1年内返済予定の長期借入金	466,556
リース債務	76,319
未払金	149,571
未払費用	107,704
未払法人税等	47,232
未払消費税等	88,826
預り金	27,879
賞与引当金	139,908
役員賞与引当金	21,570
その他	31,081
固定負債	(725,717)
長期借入金	301,934
リース債務	18,552
退職給付引当金	208,886
繰延税金負債	129,785
長期未払金	46,380
その他	20,178
負債合計	3,462,864
純資産の部	
株主資本	(6,541,573)
資本金	556,073
資本剰余金	450,193
資本準備金	450,193
利益剰余金	5,548,128
利益準備金	27,146
その他利益剰余金	5,520,982
別途積立金	2,930,000
繰越利益剰余金	2,590,982
自己株式	△12,822
評価・換算差額等	(485,845)
その他有価証券評価差額金	485,845
純資産合計	7,027,419
負債純資産合計	10,490,284

損益計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	6,601,959
売上原価	5,130,725
売上総利益	1,471,234
販売費及び一般管理費	1,171,202
営業利益	300,031
営業外収益	409,471
受取利息及び配当金	248,515
受取口イヤ指の	28,920
経為そ	54,304
	36,381
	18,561
	22,787
営業外費用	69,979
支賃そ	11,224
	50,495
	8,260
経常利益	639,522
特別利益	10,365
固定資産売却益	5,922
補助金収入	4,442
特別損失	472
固定資産除売却損	472
税引前当期純利益	649,415
法人税、住民税及び事業税	66,354
法人税等調整額	△71,373
当期純利益	654,434

株主総会 会場ご案内図

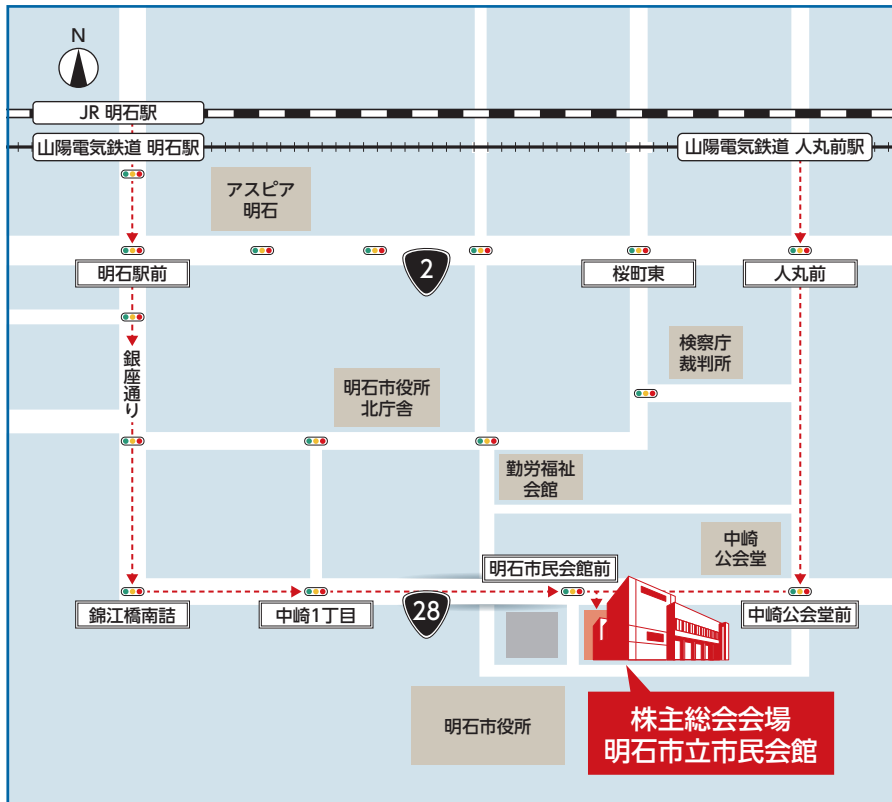
会場

明石市立市民会館 2階 中ホール

〒673-0883 兵庫県明石市中崎1丁目3番1号

NAVITIME

出発地から株主総会会場まで
スマートフォンがご案内します。
右図を読み取ってください。



交通

JR・山陽電気鉄道 明石駅から

徒歩 約**20**分

JR・山陽電気鉄道明石駅を南下、
国道28号線との交差点
「錦江橋南詰」を左折し、
東へ500mほど

山陽電気鉄道 人丸前駅から

徒歩 約**15**分

山陽電気鉄道人丸前駅を南下、
国道28号線との交差点
「中崎公会堂前」を右折し、
西へ300mほど

JR・山陽電気鉄道 明石駅から

バス 約**5**分

JR・山陽電気鉄道明石駅のバス
のりば「高架下13番のりば」
より、神姫バス系統 70・80に
乗車し、「明石市役所前」下車



明石市立市民会館専用の駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

株式会社 **カネミツ**

<https://kanemitsu.co.jp>



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。